

Reinhard Ledam

ドイツ語をもっとわかりやすく！  
**Deutsch Lernen leicht gemacht**

Kompendium der Grundstufe Deutsch (A1) für japanische Lerner  
als Ergänzung zu allen Lehrwerken oder zum Selbststudium  
Aussprache – Grammatik – Satzstrukturen – Sprachgebrauch

日本人のためのドイツ語初級（A1）ハンドブック  
すべてのドイツ語学習教本の補助テキストとして  
又は独学でドイツ語を習得したい方々のために  
発音－文法－文の構造－言葉の使い方



**MADDEL Verlag**

## はじめに

このサブテキストでは、教本に沿って重要事項の説明・解説を行うと共に各ページごとに重要なポイントを挙げ、和訳や解説をつけています。教本の進み具合に合わせてこのサブテキストを活用してください。

教本では各課ごとに生活に関わるテーマが設けられ、それに沿って文法や単語・熟語を順に学習していきます。このサブテキストでは、各テーマと学習する文法について、課の始めに枠組みで表示しました。また、教本にはない追加の情報や文法・単語なども加えてあります。ドイツの生活や文化を知る上で役立ててください。

---

このサブテキストの著者 Reinhard Ledam は 1979 年よりドイツ語教師を職業とし、1984 年にはヘッセン州認定 HVV (ヘッセン州市民大学連盟) 検定士となり、1983 年からは特に日本人を対象としたドイツ語教育を行っている。その経験を通して、ドイツ語学習における日本人特有の問題点や難点を見出し、その蓄積とノウハウを本サブテキストとして集大成するものである。

本テキストはドイツ語を学習する日本人生徒の為に「Themen neu 1」と「Themen aktuell 1」に沿って文法・文の構成・語彙などについて説明されている。本書中の全ての説明はどちらの版にも適するよう作成されており、特にドイツ語を和訳する上での留意点や日本語との相違点を明確にし、日本人生徒がドイツ語を理解しやすいよう手助けしている。

花原昌子氏は 1999 年より著者のもとでドイツ語を学び、本テキストの作成にあたっては和訳や紙面の構成だけでなく、学ぶ側の視点から重要な助言をも行った。著者より彼女に多大なる感謝の意を表す。

Der Verfasser des Readers, Reinhard Ledam, ist seit 1979 als Deutschlehrer tätig, seit 1984 auch Hessischer Landesprüfer für den HVV und konnte seit 1983 besonders mit japanischen Lernern Erfahrungen mit deren Schwierigkeiten beim Deutschlernen sammeln. Der vorliegende Reader ist die Konsequenz aus diesen Erfahrungen und erklärt – in der Abfolge des Lehrwerks „Themen neu 1“ bzw. „Themen aktuell 1“ – alle grammatischen, syntaktischen und lexikalischen Probleme für japanische Studierende. Alle Erklärungen im Reader gelten für beide Lehrbuchvarianten gleichermaßen.

Dabei werden vor allem die Differenzen der deutschen zur japanischen Sprache verdeutlicht und so dem japanischen Lerner das Verständnis der deutschen Sprache wesentlich erleichtert.

Dazu hat auch Masako Hanahara, seit 1999 Schüler von Reinhard Ledam, erheblich beigetragen, die nicht nur die japanische Übersetzung und das Layout besorgte, sondern auch wichtige Hinweise aus der Sicht des Lernenden gegeben hat, die allen Lesern und Studierenden mit japanischer Muttersprache zu Gute kommen werden. Dafür gilt ihr der ganz besondere Dank des Autors.

# INHALT

## 目次

	テーマ	学習する主な文法
手引き		本書を使うにあたっての手引き(Einleitung)
発音		発音のルール(Phonetik)
Lektion 1	最初の会話 (Erste Kontakte)	自己紹介(Aussagen), 疑問文(Wort-/Satzfrage), Sie の命令形(Imperativ 'Sie'), 動詞現在形の活用(Konjugation Präsens)
Lektion 2	家の中の物と家事 (Gegenstände in Haus und Haushalt)	冠詞(Artikel), 否定(Negation), 所有冠詞(Possessivartikel)
Lektion 3	食べ物 飲み物 (Essen und Trinken)	四格 (Akkusativ), 助動詞 (Modalverben) möchten, 不規則変化の動詞(Verb mit Vokalwechsel)
Lektion 4	余暇 (Freizeit)	分離動詞(Trennbare Verben), 時刻(Uhrzeit), 助動詞(Modalverb.: können, müssen, dürfen)
Lektion 5	住まい (Wohnen)	指示代名詞(Demonstrativpronomen), 不定代名詞(Indefinitpronomen), 場所の表し方(Ortsangaben)
Lektion 6	病気 (Krankheit)	所有冠詞(Possessivartikel), 現在完了(Perfekt), 助動詞(Modalverb) sollen, 二人称単数・複数の命令形 (Imperativ 2. Person Singular und Plural)
Lektion 7	日常のこと (Alltag)	現在完了(Perfekt), 方向の表し方(Richtungsangaben), 人称代名詞四格(Personalpronomen im Akk.)
Lektion 8	街を歩く (Orientierung in der Stadt)	前置詞とその活用(Wechselpräpositionen)
Lektion 9	買い物と贈り物 (Kaufen und Schenken)	三格(Dativ), 比較級(Komparativ)と最上級(Superlativ), 指示代名詞の四格 (Demonstrativpronomen im Akk.)
Lektion 10	ドイツ語とドイツ文化 (Deutsche Sprache und deutsche Kultur)	二格(Genitiv)
索引		アルファベートゥ順索引 (Alphabetische Wortliste)

## 発音 (Phonetik)

ドイツ語特有の発音は、日本語はもとより英語とも異なります。

ここではその基本ルールについて説明し、正しいドイツ語の発音を習得できるよう手助けします。

1. ドイツ語のアルファベートの公式な表現方法「Die offizielle Buchstabiertafel」
2. 母音(Die Vokale)がひとつの場合の発音
3. 複数の母音(Vokalkombination = Diphtonge)の発音
4. 長母音(lange Vokale)と短母音(kurze Vokale)のルール
5. 子音(Die Konsonanten)について

1. 口頭でアルファベット(Alphabet)の綴り(Buchstaben)を説明するとき(例えば電話で\*)には、下記一覧(Die offizielle Buchstabiertafel)にある表現を使うことによって、類似した音の文字と区別します。これは公的に認められたアルファベット表示方法です。

\*電話ではアルファベット以外にも、数字の zwei(2)を drei(3)とを区別するために 2を zwo(ツヴォー)と発音します。

### Die offizielle Buchstabiertafel

<b>A</b>	wie Anton (アントン=男性の名前)
<b>Be</b>	wie Berta (ベータ)
<b>Ce</b>	wie Cäsar (ツェーザー=男性の名前)
<b>De</b>	wie Dora (ドーラ=女性の名前)
<b>E</b>	wie Emil (エーミル=男性の名前)
<b>eF</b>	wie Friedrich (フリードリヒ=男性の名前)
<b>Ge</b>	wie Gustav (グスタフ=男性の名前)
<b>Ha</b>	wie Heinrich (ハインリッヒ=男性の名前)
<b>I</b>	wie Ida (イーダ=女性の名前)
<b>Jot</b>	wie Julius (ユーリウス=男性の名前)
<b>Ka</b>	wie Kaufmann (カウフマン、名字あるいは商人の意)
<b>eL</b>	wie Ludwig (ルードウヴィッヒ=男性の名前)
<b>eM</b>	wie Martha (マータ=女性の名前)
<b>eN</b>	wie Nordpol (ノアトウポール=北極)
<b>O</b>	wie Otto (オット=男性の名前、あるいは名字)
<b>Pe</b>	wie Paula (パウラ=女性の名前)
<b>Qu</b>	wie Quelle (クヴェツレ=泉)
<b>eR</b>	wie Richard (リッヒャートゥ=男性の名前)
<b>eS</b>	wie Samuel (ザームエル=男性の名前)
<b>Te</b>	wie Theodor (テーオドア=男性の名前)
<b>U</b>	wie Ulrich (ウルリッヒ=男性の名前)

Sport(シュポアトウ)	スポーツ
Spur(シュプーア)	足跡、手がかり／道、車線
Start(シュタートウ)	始まり、始め
stehen(シュテーヘン)	立つ
Stil(シュティール)	スタイル、文体、表現様式
Stopp(シュトツプ)	停止
Stuhl(シュトウール)	椅子

e) 子音の **l** と **r** には下記のような違いがある。

1. **l**(エル)は最後に舌を上顎につけて発音する。

<u>文字(発音)</u>	<u>意味</u>
Ball(バツル)	ボール
Welle(ヴェツレ)	波
viel(フィール)	たくさんの
voll(フォツル)	いっぱい
Kultur(クルトウア)	文化
lang(ラング)	長い
Leben(レーベン)	人生／生活／生命
Liebe(リーベ)	愛情
Los(ロース)	くじ
Luft(ルフトウ)	空気

2. **r** そのものは喉を使って発音されるが、その位置によって発音が変わる。

<u>文字(発音)</u>	<u>意味</u>	
raten(ラーテン)	助言する	} 単語の初め
Regen(レーゲン)	雨	
Ring(リング)	指輪	
rot(ロートウ)	赤い	
rund(ルントウ)	丸い	
tragen(トウラーゲン)	運ぶ／着ている	} 他の子音の後
drei(ドライ)	(数字の)3	
Brot(ブロートウ)	パン	
grau(グラウ)	灰色の	
Gruß(グルース)	挨拶	
Preis(プライス)	価格、代金	
Kranz(クランツ)	冠、輪	

- Bruck ? **Wo** liegt das **denn**\* ? **In Österreich.** オーストリア(国名)です  
ブルック? いったいどこにあるの? **Bei Wien.** ヴィーン(都市名)です  
\*この場合の **denn** は、「いったい全体～なのか?」のように  
質問に対する回答を強く促すような意味合いがある
- **Wohin** möchtet ihr ? **Nach München.** ムンヘンへ(行くつもりです)  
どこへ行くつもりですか?

### 18頁 21番

ich lerne* Deutsch	私はドイツ語を勉強しています
sie studiert* Medizin	彼女は薬学を勉強(大学で専攻)しています
* <b>lernen</b> は一般的に「勉強する」ことを指し <b>studieren</b> は大学での専攻・専門学習を意味する	
er spielt Klavier	彼はピアノを弾きます
sie wohnen in Sanitz	彼らはサーニッツに住んでいます
er besucht seine Mutter	彼は彼の母を訪問します(しています)
sie hat Geburtstag	彼女は誕生日です

### 19頁 こだま(das Echo)

- ich verstehe (nicht)      わかりました(わかりません)
  - a) 相手の声が小さい,あるいは周囲がうるさくて聞こえなくて分からない場合
  - b) ドイツ語など言葉が分からなくて、理解できない場合
  - c) 相手あるいは第三者の言動の理由が理解できない場合
- vielleicht      たぶん(かなりあやふやな状況)

### 20頁 シュバーツ(黒)出身のヴァイス(白)氏 (Herr Weiß aus Schwarz)

役所にてある公務員との会話(Interview mit einem Beamten auf einem Amt)

Wohnhaft ?	居住地は? (= Wo wohnen Sie ?)
Geboren ?	生年月日は? (= Wann sind Sie geboren ?)
Geburtsort ?	出生地は? (= Wo sind Sie geboren ?)
~, geborene ~	旧姓は? 注)欧米ではパスポートにも記載されている 届け出項目として頻繁に尋ねられる
schwarz arbeiten	法に反した労働(労働許可無し、無申請、税無申告など)
das ist verboten	それは禁止されている

## 41頁18番 買い物(Einkaufen)、食料品(Lebensmittel)

金額を尋ねる時に使う動詞「kosten」は、対象となる品物がひとつ、ないしはいち単位である場合には単数変化して「kostet」となります。

a) 数量が単数になる品について尋ねる時

Was kostet **der** Wein / **ein** Ei / **1 kg** Mehl / **eine** Banane / **ein Pfund** Käse ?

b) 数量が複数になる品について尋ねる時

Was kosten **5 kg** Kartoffeln / **100 g** Salami / **10** Brötchen / **2 l** Milch ?

### 数量の単位

100 g (Gramm) 500 g = 1 Pfund = ein halbes (1/2) Kilo\*

2 Pfund = 1000 g = 1(ein) kg (Kilo\* / Kilogramm)

\*重さ(Kg)はキロと読むが、距離(Km)は必ずキロメートルと読むので注意

1 l / Ltr. = 1 Liter = 1000 ccm(Kubikzentimeter = cm<sup>3</sup>)

0,75 Ltr. = 0 Komma sieben fünf

(fünfundsiebzig とは読まない 小数点以下は数字をそのまま読む)

1 Stück 10 Stück (Stück は単数・複数同じ)

### 包装・梱包の単位

eine Flasche (ワインなどボトルで売られているもの)

eine Kiste / ein Kasten (水・ビールなど 0.33Ltr. 瓶が 24 本入っている)

eine Packung (砂糖・お茶葉・洗剤・卵など 包みやパックには入っているもの)

eine Schachtel (煙草・マッチ・チョコレートなど 箱に入っているもの)

eine Tüte / ein Beutel (ポテトチップ・飴など 袋に入っているもの)

ein Stück (キュウリ・卵・パンなど 固体がひとつずつ売られているもの)

eine Scheibe (ハムやチーズなどの一切れのこと)

ハムやチーズは塊でも、スライスでも買うことができます

どのようにして買うのか店員に尋ねられることがあります

Möchten Sie den Käse am Stück oder geschnitten (in Scheiben) ?

塊                      スライス

eine Lage (ハムやチーズなど 切り分けられて皿盛りで売られているもの)

ein Glas (ジャム・ピクルスなど 瓶詰めで売られているもの)

ein Becher (ヨーグルト・生クリーム・マーガリンなど 容器で売られているもの)

ein Netz (じゃがいも・玉ねぎ・ピーマンなど ネット入りで売られているもの)

## 41頁19番 買い物(Einkaufen)

der Einkaufszettel

買い物メモ

補足知識 日本語とドイツ語における動詞の使われかたの違い

(**Verbanwendung**: wichtige Differenzen zwischen Deutsch und Japanisch)

同じ動詞の意味でも、日本語とドイツ語とでは使われる目的語に違いがあります

例: **besuchen** → 人(Person)を訪ねる、訪問する

→ 場所に行く: ein Land(国), eine Stadt(町), ein Restaurant, Café,  
Theater(劇場), Kino(映画館), ein Museum(美術館),  
die Schule(学校), den Zirkus(サーカス) など

**spielen** → ゲーム: Brettspiele(ボードゲーム), Karten(カードゲーム)

→ スポーツ: Tennis, Fußball(サッカー), Basketball, Baseball, Softball

→ 楽器: Klavier(ピアノ), Violine(バイオリン), Trompete(トランペット)

## 46～47頁 船上にて(Auf dem Schiff)

Auf dem Schiff Urlaub machen

船上で休暇を過ごす

Willkommen an Bord!

(船上へ)ようこそ!

### 1. Wo ist was? どこに何がありますか?

Deck デッキ

Geschäft 店

Bibliothek 図書館・図書室

Kino 映画館

Film 映画

Friseur 美容室

Krankenhaus 病院

意味の違いに注意!

Maschine エンジン、モーター

### 2. Wo **kann** man\* einen Film **sehen**? どこで映画を見ることができますか?

助動詞(Modalverb)

können +

文中2番目の位地

動詞(Verb)の原形

sehen

文の最後

Ich sehe **gern** einen Film

私は映画(を見ること)が好きです

Ich sehe **gerade** einen Film

私は今映画を見ているところです

Ich **kann** auf Deck 10 einen Film sehen

デッキ10で映画を見ることができます

\***man** とは不特定多数の人を表し「人は～」「誰でも～」のように用いられます  
文法上は三人称単数になります(man hört, isst ...)



## Lektion 7

ここでのテーマは日常の生活です  
文法面では主に現在完了(Perfekt)について学びます

### 82頁 あなたはどう思いますか? (Was meinen Sie? / Was glauben Sie?)

1.

- Was haben die Leute **gerade** gemacht? あの人はたった今何をしたのですか?  
Was isst du morgens? 毎朝君は何を食べますか?  
Was isst du **gerade**? 今君はなにを食べているのですか?  
Er ist **gerade** nach Hause gekommen. 彼はたった今家に帰ったところです

2a.

Was haben die Leute am Wochenende gemacht? あの人は週末何をしたのですか?

2c.

Überlegen Sie. 考えてみて

Was haben die Leute **vielleicht(=wohl)** außerdem gemacht?

あの人はその他に何をすると思いますか?

(カセットより)

- Ich habe **doch**\* Besuch gehabt. (あなたも知ってる通り)私は来客がありました  
Ich habe **doch**\* ein Theaterabonnement. (ご存知の通り)私は劇場の定期公演を観ました  
Sie muss **doch**\* für die Prüfung lernen. (知ってるの通り)彼女は試験のために  
勉強しなくてはなりませんでした

\*ここでは冠詞 **doch** は、話し相手の予測や期待に対し「前に言ったけれど、知っていると  
思うけれど」のように、事前に自分が告知していたという事実を暗に表現する働きをします

\*同様の働きをする冠詞に **ja** がありますが、**ja** が肯定的、プラスの意味合い(「あなたも  
知っていることだけど.....」のように)をもつものに対し、**doch** は「前にも話したけれど.....」の  
ように相手に反論する場合に用います

### 問題集79頁1番

- eine Prüfung 試験  
einen Ausflug machen a)遠出、小旅行(英:trip)をする b)遠足(英:excursion)をする  
Lebensmittel 食料品



erledigen 処理する、済ませる、(用事を)片づける

Wohin geht er? 彼はどこに行くのでしょうか?

Er möchte das Auto waschen lassen. 彼は車を洗ってもらおうと思っています

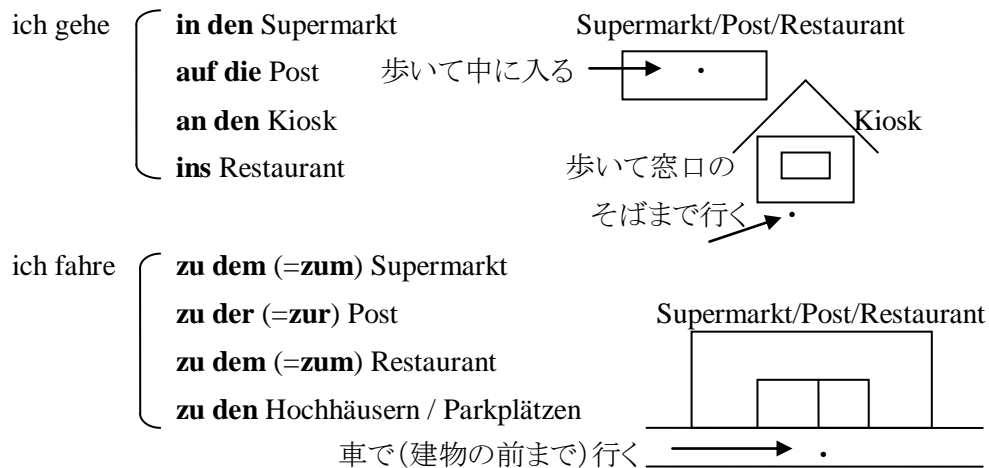
Er fährt zur Werkstatt. 彼は整備工場へ向かいます

### gehen と fahren

ドイツ語の gehen と fahren はどちらも日本語で「行く」と訳されますが、  
gehen は「歩いて行く」、fahren は「乗り物を使って行く」という違いがあります。

↓  
mit dem Auto / Bus / Zug / Taxi fahren  
車 / バス / 電車 / タクシーで行く

それぞれ、適した前置詞(場所を表す前置詞)を用いなくてはなりません。



gehen の場合には歩いているので建物の中まで入ることができます。

しかし fahren の場合には、乗り物に乗ったままで建物の中まで入ることはできません。

従ってその場所・建物まで行くという意味で「zu + 3格」を遣います。

zu を用いることによって建物の中へではなく、その場所まで行くということを示します。

(注意！)

乗り物で中まで入ることができる場合には fahren でも in などの前置詞を伴うことがあります

ich fahre	[	in die Garage
		in die Stadt
		ins Parkhaus

# Alphabetische Wortliste

## A,a

ab 60  
ab wann? 74  
Abend, r 22,64,66  
abends 42,67  
aber 26,37,56  
aber natürlich! 106  
abfahren 66,109  
Abfahrt, e 66  
abheben 114  
abholen 91,107f  
absagen 100  
abschalten 107  
Absicht, e 109  
absichtlich 109  
abspielen 134  
abstellen 107  
Achtung! 59  
Adjektiv, s 47,130ff  
Adverb, s 42ff  
ähnlich 50  
Akk.=> Akkusativ 129  
Akkusativ, r 41,69,72,115  
aktuell 133  
alle (1) 105  
alle (2) 38  
allein 134  
alles 36,45,135f  
allgemein 86  
Alphabet, s 9f  
als (1) 44  
als (2) 132  
also 37  
alt 25,47,131  
Alter, s 26  
alternativ 79  
am 68,77,117f,124  
am besten 131  
am liebsten 43,131  
am meisten 131  
am Stück 48  
am Wochenende 93  
an ...vorbei 120  
an(1) 77,117f,124  
an(2) 107  
ander(e,en) 50,139  
ändern 100  
anders 126,139  
anfangen 59  
Angst haben 109  
anhalten 109  
ankommen 66  
Ankunft, e 66

anmachen 107  
annähen 106  
anrufen 76  
ans 118  
anschalten 107  
anschauen 75  
anschließen 110,134  
anstellen 107  
anstrengend 96  
Antwort, e 114  
antworten 83,128f  
anziehen 57  
Arbeit, e 56  
arbeiten 27  
arbeitslos 125  
Ärger, r 78,110  
arm 81,125  
Artikel, r 29f  
auch 87,110,139  
auch mal 77  
auf (1) 38  
auf (2) 36,117f,121ff  
Auf dein Wohl! 46  
aufbauen 125  
aufbleiben 108f  
aufhängen 76  
aufnehmen 134  
aufpassen 128  
aufräumen 57  
aufschreiben 57,85,120  
aufstehen 57,90,92  
aufwachen 87,92  
aus (1) 24  
aus (2) 85  
aus (3) 107  
aus Versehen 109  
Ausflug machen 98  
ausgeben 55  
ausgezogen(→ausziehen) 110  
ausmachen(1) 107  
ausmachen(2) 99  
ausschalten 107  
ausschlafen 87  
aussehen 47,72  
außerdem 98,144  
außerhalb 75  
aussteigen 109  
ausziehen 110

## **B,b**

backen 54  
baden 118  
bald 80,110,113  
bauen 76  
beantworten 83  
Bedeutung, e 29  
bedienen 54

- このハンドブックは、20年以上にわたり日本人にドイツ語を指導してきた著者の経験から、初級ドイツ語（A1）を学習するすべての日本人のために生まれました。各課のテーマに沿い、段階的に分かりやすく学ぶことができるよう構成されています。本文中では理解しにくい文法を具体例と共に詳しく説明し、文の構成や言葉の慣用における日本語との違い、および日本人には馴染みのないドイツ語の発音とその基本ルールについて解説しています。
- 本書は全てのドイツ語学習教本のサブテキストとして用いることができ、日本人がドイツ語をより容易に習得するためのパートナーとなるでしょう。本書巻末に収めたアルファベット順の索引では、重要単語や必要な文法上の説明を簡単に参照できるようになっています。
- ドイツ語の発音の難しい点に関しても、本書の巻頭で詳しく説明しています。
- 10課から成る本書は、優れたドイツ語教本である「Themen neu/ aktuell 1」に沿って作成されていますので、Themen で学ぶ方々はページごとに記される各ポイントや解説を1つ1つ確認しながら**学習を進めることができます**。
- 語学学校に通ったり講師について学ぶ機会や時間のない独学中の方々にも、A1レベルに必要な重要単語や文法上のポイントを本書で順に丁寧に学んでいただけます。**もちろん教本なしでも大丈夫です**。あるいはお持ちの教本のサブテキストとしてご活用ください。
- A1レベルの学習者に限らず、ドイツ語をもう一度勉強し直してみたい、検定試験（Start Deutsch 1, 2/、独検 5, 4級）に向けて学習したい、といった多くの方々にも本書はドイツ語基礎学習テキストとしてご好評いただいています。

Reinhard Ledam

ラインハルトウ・レーダム

★ 実際に授業で使った生徒たちから、  
こんな感想が寄せられています。

- ⇒ 辞書を引いていただけでよく分からない時、  
分かりやすい日本語の説明があるので助かります。
- ⇒ 状況にあったぴったりの表現がたくさんあるので、実際の生活に役立っています。
- ⇒ 文法が苦手な私には必需品です。
- ⇒ 辞書には記されていない話法や文・意味の説明が詳しいので、Themen neu 1 の副読本として役立てています。
- ⇒ このテキストがあれば、簡単にドイツ語を学べます。

[info@privatschule-ledam.de](mailto:info@privatschule-ledam.de)

[www.privatschule-ledam.de](http://www.privatschule-ledam.de)